

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

令和6年度第3回四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和7年2月4日(火) 14時40分～15時35分
2. 場所 遠隔 (Microsoft Teams 利用)
3. 出席者：[徳島大学] 寺田教授、大藪教授、瓜生助教 [鳴門教育大学] 阪東准教授、石川講師 [愛媛大学] 平野教授、原本教授、羽藤教授、高橋助教
[高知大学] 佐々教授、菅原特任講師、李特任助教 [香川大学] 吉田副学長、高橋教授、林教授、宮崎教授、白幡准教授、藤澤特命講師、久保特命講師
陪席者：[徳島大学] 岩森課長、白田副課長、小倉係長 [鳴門教育大学] 大林係長、三室係員 [愛媛大学] 森田課長、長曾我部副課長、新チームリーダー、越智事務補佐員、石川研究補助員 [高知大学] 前田課長、晦日係員 [香川大学] 藤沢部長、角田課長、宮崎係長、中村技術補佐員、萬木事務補佐員、細川事務補佐員

開会に先立ち、高橋議長（香川大学）から挨拶があった。また、司会進行は、高橋議長の指名により林教授（香川大学）が行うこととなった。

4. 議題

(1) 令和6年度四国ブロック活動報告について

高橋議長から、議題資料1に基づき令和6年度の四国ブロックの活動について報告があり、同資料3頁目について、全国コンソーシアムの運営会議及び四国ブロック総会の際、各県の取り組みをとりまとめたものを四国ブロックの特色として報告する旨が確認された。

なお、平野教授（愛媛大学）から、コンソーシアムの活動の趣旨と各大学が行っているデータサイエンスやAIに関連するセンター等との取り組みとの方向性に相違があるものの、現状の形態で問題なく、幅広く解釈することが必要との意見があった。

また、愛媛大学（愛媛県）の取り組み「小学生向けプログラミング体験教室や大学附属高校でのIT授業など、大学との連携プログラムを展開」の記載について修正依頼があり、修正したものを報告資料として提出することとなった。

(2) 令和7年度四国ブロック活動計画について

高橋議長から、議題資料2に基づき令和7年度の四国ブロックの活動計画につ

いて説明があり、審議の結果、6月～7月に高知大学でワークショップ及び運営会議を開催することが承認された。また、あわせて11月～12月に徳島県域で運営会議を開催することが承認され、候補日や場所等の提案については徳島大学が担当することとなった。

(3) その他

高橋議長から、特定分野校の標準教材の公開時期等について、及び四国経済産業局との連携については令和6年度四国ブロック総会で進捗状況を報告するとの発言があった。

また、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウムについて概要説明があり、参加依頼があった。

閉会挨拶 佐々教授から、閉会の挨拶が述べられた。

以上